

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	台東つばさ福祉会 つばさ放課後クラブ
------	--------------------

公表日 2025年12月25日

利用児童数 22

回収数 22

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2		1		指定基準以上のスペースを確保している。子どもの障害特性に合わせた空間を設けるなどの工夫も行っている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1		3		人員配置基準を満たす職員を配置して、支援にあたっている。また、研修受講などにより、個々のスキルアップと専門性の向上を図っている。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1		2		仮移転先での運営であるが、身体に障害のある子どもに使いやすくバリアフリー化されている。また、予定や具体的な行動順、作業棚の整理などは、移転前と変わらず構造化しており、情報伝達に配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21			1		掃除と消毒を毎日実施している。活動に合わせてスペースの使い方を変えるなどの工夫をしている。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	2				子どもの特性と理解度、今後の目標を意識して支援している。職員は児童指導員・保育士など専門性の高い職員を配置している。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					5領域に沿った総合的支援プログラムを実施している。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					6か月に一度は必ずモニタリングをおこない、保護者と目標の達成度を確認した上で計画を作成している。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	22					子どもの成長に大きな影響を及ぼす家族や、ほかの療育・支援と連携して本人を支援していくよう、意識している。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					丁寧なモニタリングと日々の職員ミーティングを通して、具体的・現実的な計画を作成している。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22					活動内容は季節や子どもの願ふに応じて工夫している。また、定期的にタイムテーブルの見直しも行っている。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	4	1	5		仮移転前までは近所の児童館へ赴き、活動をする機会があったが、仮移転後は距離が遠くなつたため休止している。対応については現在検討している。
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				この項目は、毎年必要ですか。	保護者会での説明、書類の配布、面談などを通して説明している。特に面談では、質問をいただく機会が多いので、その場で丁寧に説明している。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					子ども一人ひとりの今に何が必要か、ご家族と個別に話し合う機会なので、丁寧な説明を心がけている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	4		7		保護者が家庭での療育に自信が持てるよう必要な助言を行うとともに、保護者の気持ちを表出していただけることを心がけている。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22					連絡帳は、活動内容だけでなく子どもの発達の状況や課題について触れられるように努める。また内容によっては電話や面談等をおこない共通理解ができるようにしている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1			面談は定期的に行われている。	半年に一度の面談、年1～2回の保護者会、個別電話などを通して、保護者からのお相談には、都度対応している。

護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22				引き続き、丁寧にお話を伺うよう心掛けている。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	8	4	きょうだい児支援は何とも言えないが、現在求めてもいない。	保護者会を年に2度開催し、ご意見を伺って少しでも運営に反映できるよう努めている。きょうだいへのアプローチについては、保護者の意見を参考にしていきたい。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20		2		相談については、随時対面や電話で対応している。苦情解決や虐待防止に関しては重要事項説明書に明記し、施設内に掲示している。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22			連絡帳もアプリ化、電子化されると良いと思っています。	児童に対しては理解度に合わせて、絵カードやジースチャー等を用いてわかりやすく伝えるよう心掛けている。保護者に対しては連絡帳を基本に、必要に応じて電話やメールで対応している。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20		1	1	機関紙「ぱすてる」を年4回、法人ホームページインスタグラムでの活動紹介を年数回、その他お知らせを随時発行している。自己評価については法人ホームページにて公表している。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1			メール送信時には暗号化ソフトを使用し、誤送信に留意している。写真の使用に関しては、保護者と都度確認を取っている。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20		2		緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアル共に策定されており、保護者への周知をしている。
非常時等の対応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20		2		地震、火災、風水害、不審者を想定した訓練をそれぞれ年1回以上実施。建物全体としての避難訓練も行っている。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19		3		消防や児童通所施設の基準を学びながら、安全を確保した運営を行っている。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21		1		事故については、発生しないように細心の注意を払うとともに、発生した場合は、速やかに電話でお伝えしている。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	22				安心感を持ってご利用いただけるよう、日々努めている。
満足度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1		とても楽しく通っています。	通所が児童にとって、「楽しい」「居心地が良い」と思ってもらえるよう支援していく。そして安心安全に楽しみながら成長できる事業所運営に努める。
	29 事業所の支援に満足していますか。	22			いつもありがとうございます。休日、弁当持参でなく仕出し弁当が利用できると良いです。	保護者との面談を通して、今後を見据えた個別支援計画を作成し、計画に沿った支援を提供している。職員は研修を効果的に受け、支援スキルの向上に努めている。